

第3回草加市子ども・子育て会議 会議録（概要版）

1 開催日時

令和4年（2022年）2月18日（金）

午前10時30分から正午まで

2 開催場所

Z o o m（ウェブ会議方式）

3 出席者の氏名

- (1) 委 員 小島委員、宮地委員、丹羽委員、高橋（朋）委員、山下委員、猪俣委員、黒子委員、高橋（雅）委員、高橋（博）委員、高野委員、大森委員、木村委員、河合委員、門脇委員、海谷委員、土手内委員
- (2) 事務局 津曲子ども未来部長、藤倉子育て支援課長、遠藤子育て支援センター所長、浅井保育課長、浜野子育て支援課課長補佐、福嶋子育て支援課子ども政策係長、鎌田子育て支援課子ども政策係主事、林子育て支援課子ども政策係主事

4 会議の次第

- (1) 開 会
- (2) あいさつ
- (3) 議 事
 - ① 国の先行調査について
 - ② 現場等で感じている現状と課題について
 - ③ その他
- (4) 閉 会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 審議の結果

- (1) 会議録の署名委員として黒子委員、高橋（雅）委員を指名しました。
- (2) 事務局から国の先行調査について報告を行いました。
- (3) 現場等で感じている現状と課題についてグループディスカッションを行いました。

8 主な意見

- (1) 会議録の署名委員について
 - ・特になし。
- (2) 国の先行調査の報告について
 - ・国の先行調査の分析結果より、子どもの貧困対策の方針として、人的資本、文化資本、社会関係資本などの支援、保護者の就労支援、準貧困層への支援の大きく3つが挙げられているが、草加市としてどの支援に特化するという方針はあるのか。
- (3) 現場等で感じている現状と課題について（グループディスカッション）
 - ・問題が起きたときに誰がイニシアチブをとって行動するのかが決まっていない。
 - ・問題にどこまで踏み込んでいいのかわからないことや、踏み込んでほしくないという人に対しての配慮が必要であり、支援が難しいときがある。
 - ・貧困調査の実施を待たずに、できることを始めるべきではないか。
 - ・市の制度や手続きが複雑で難しいため、情報発信の仕方を工夫してほしい。
 - ・コロナ禍において親同士の情報交換の場などがなくなり、共助の場が少なくなっている。
 - ・法律を反映しづらいような問題に対する貧困対策についても考えていくべきである。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家庭には金銭的な支援が必要ではないか。
 - ・様々な支援があっても、その制度、活動を知らない人や、利用の仕方が分からない人に対してどうすべきかが一番の問題なのではないか。
 - ・支援を円滑に進めるためにも、市が主導で動いてほしい。
 - ・子どもやその保護者がより良く生きる（ウェルビーイング）ためにも、支援を受けることが「貧困世帯である」というスティグマにならないような支援の仕組みを作ることが必要なのではないか。

9 審議の概要

詳細な会議録は、市役所情報コーナーで公開する。